資料4

震災後の消費動向と
リスクコミュニケーション

食品に関するリスクコミュニケーション
～食品中の放射性物質対策に関する説明会～

2012．4．20　星陵会館

コープとうきょう理事（日本生協連理事）
河野恵美子

お話しすること

＊震災後の主な食品の利用変化

・コープネット宅配事業から

＊消費者・組合員の声

・コープネット事業連合に寄せられた声から

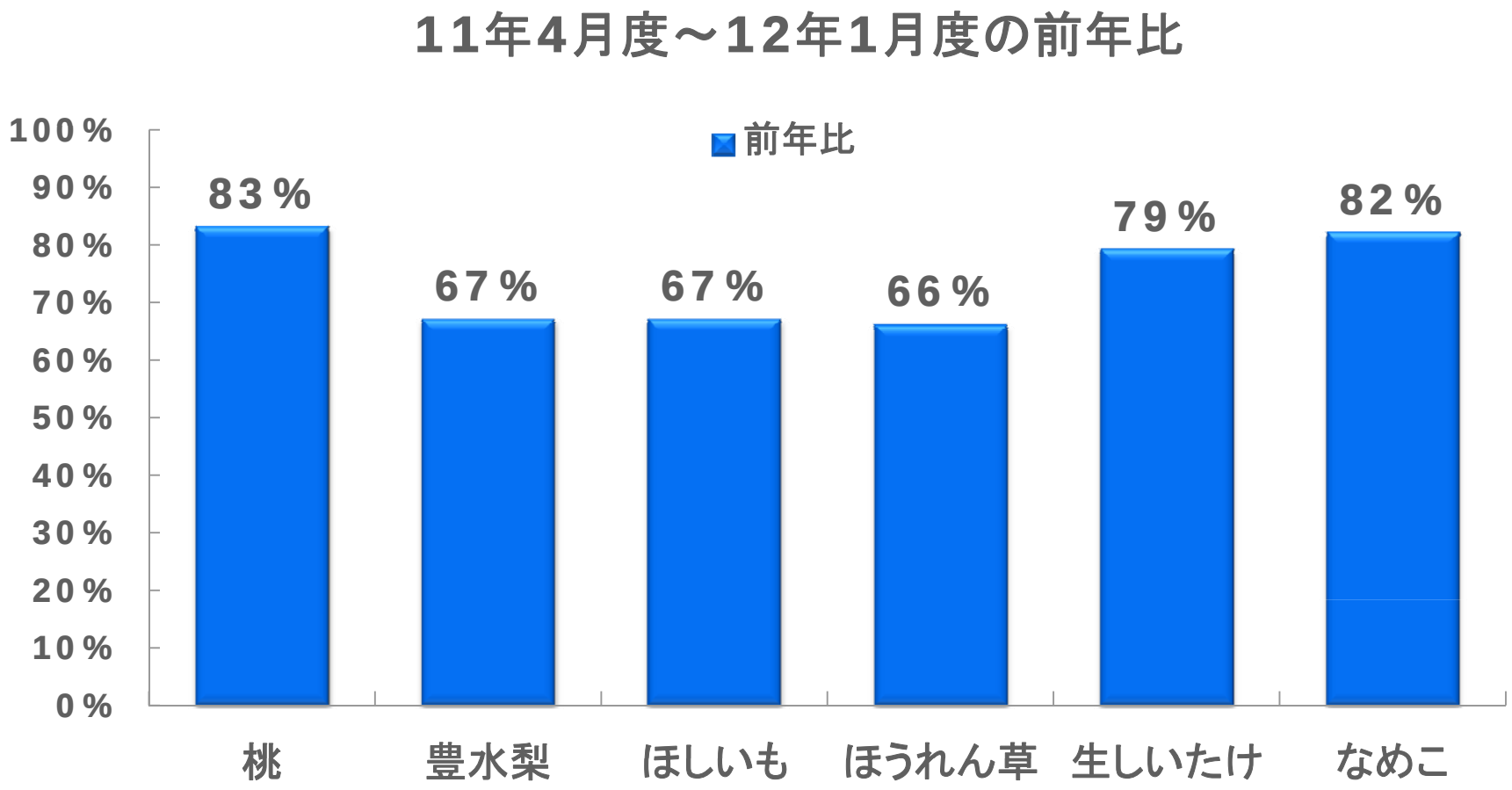
＊リスクコミュニケーションに向けて

コープとうきょう概要

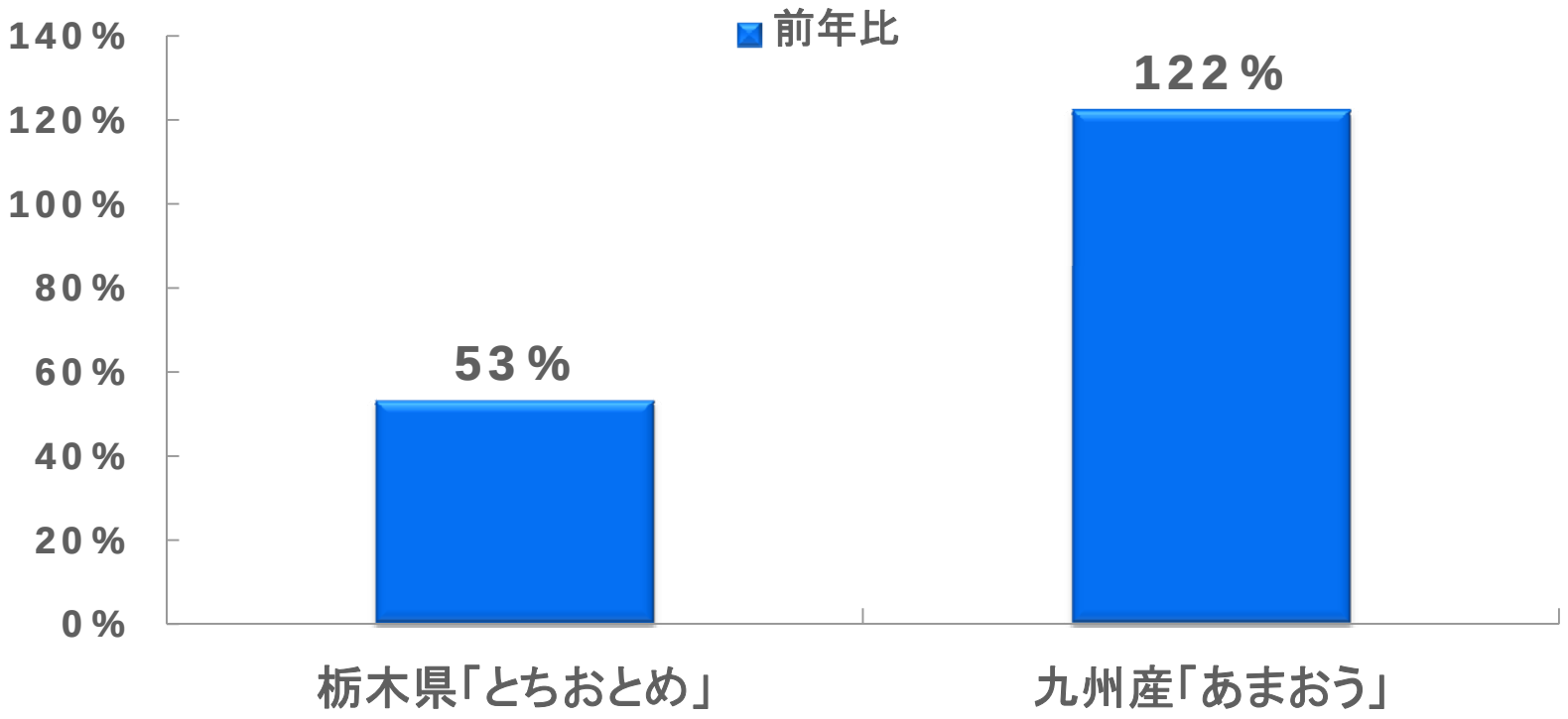
組合員数	1,280,207 人
出資金総額	217億0,043 万円
一人あたり出資金	16,951 円
事業エリア	都内全域（伊豆諸島の一部を除く）
総事業高（2010年度）	1,571億195 万円
職員数	正規職員　1,020 人 パート・アルバイト職員　5,428 人
コープデリ宅配センター	31センター
ミニコープ店	46 店
SM店	28 店
介護センター	5 事業所
組合員施設	3 ヵ所

事業の概況（2011年12月20日現在）

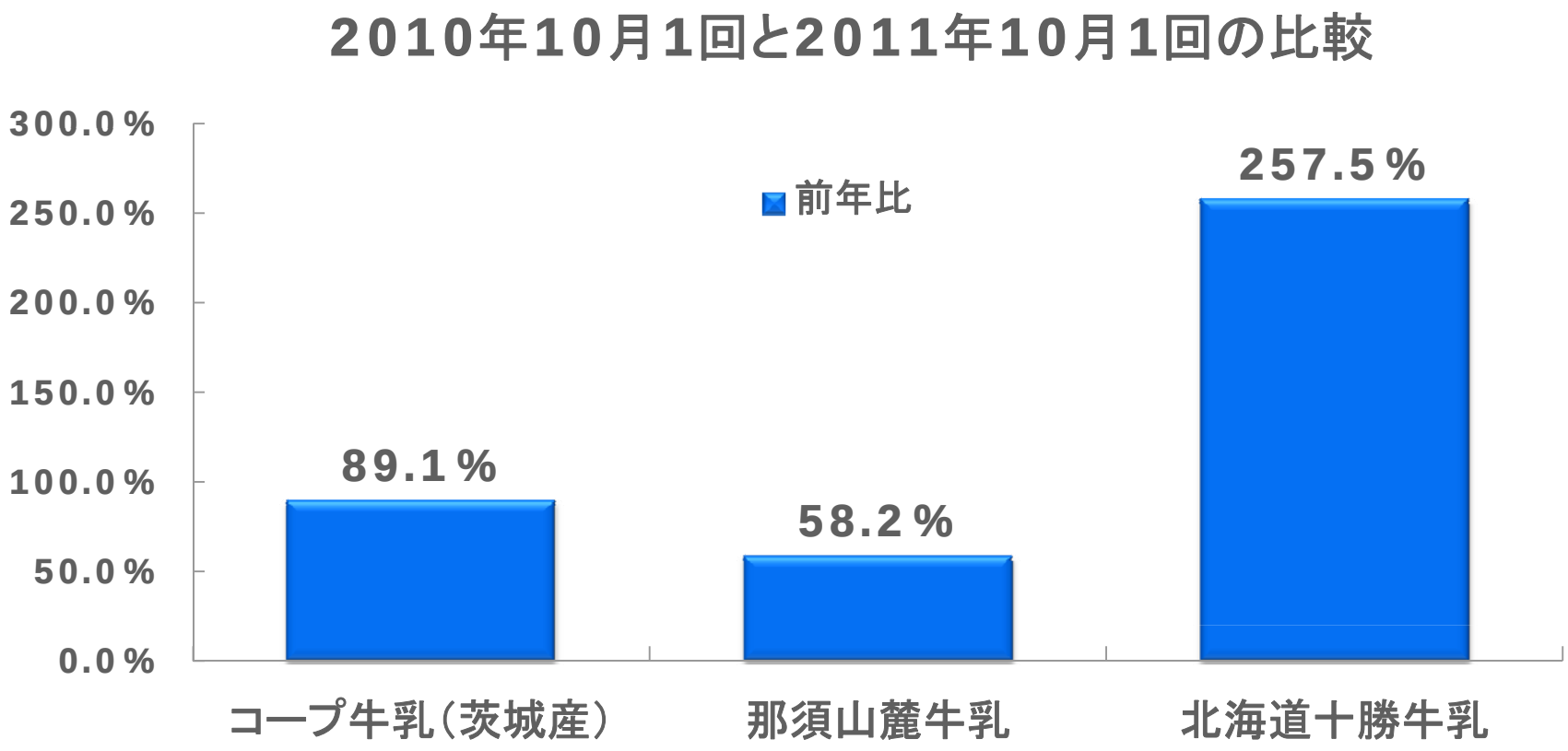
主な食品の利用変化　野菜



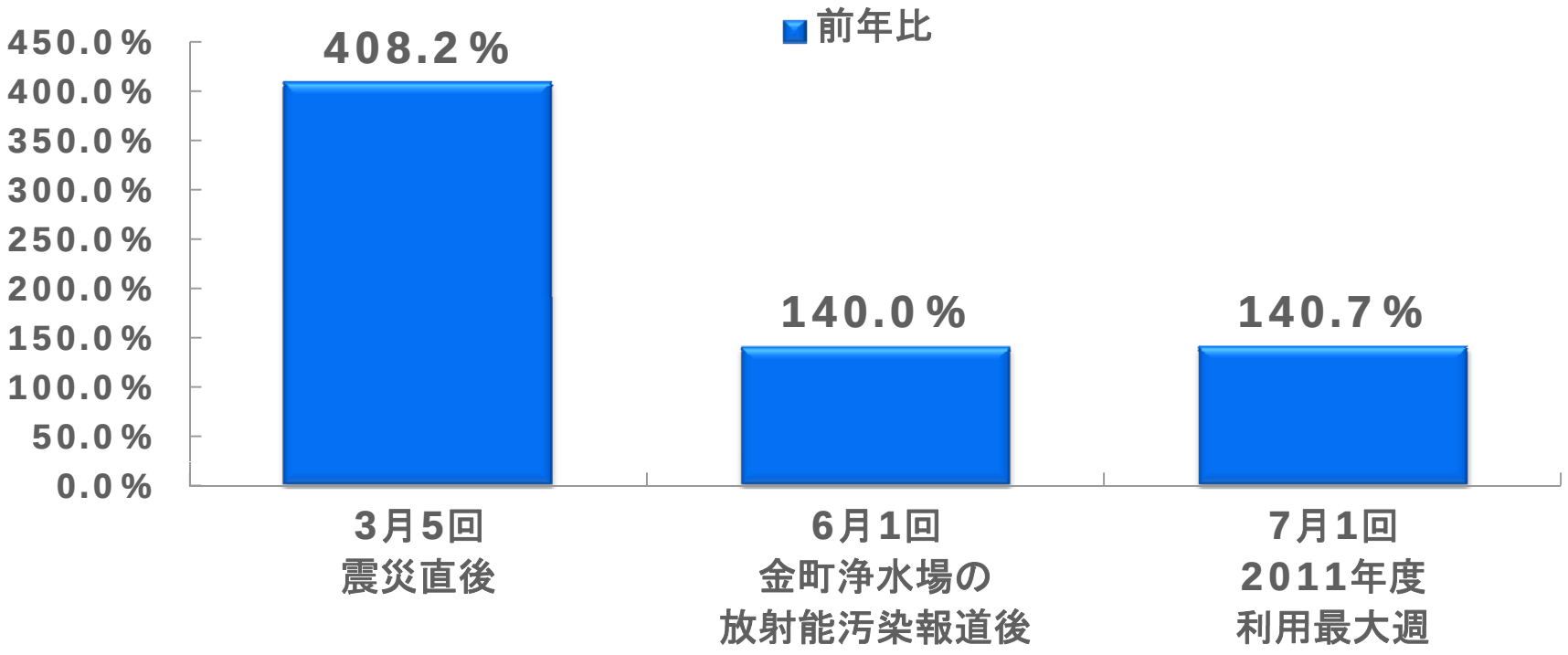
主な食品の利用変化　いちご



主な食品の利用変化　牛乳



主な食品の利用変化　水


前年比
450.0%
400.0%
350.0%
300.0%
250.0%
200.0%
150.0%
100.0%
50.0%
0.0%
408.2%
140.0%
140.7%
3月5回
震災直後
6月1回
金町浄水場の
放射能汚染報道後
7月1回
2011年度
利用最大週

主な食品の利用変化

野菜

西の産地要望
明確な産地情報

水

20～30代子育て層
北海道や関西

ファミリー層　低価格志向
シニア層　トッププランド志向

いちご

甘さ　味の安定もあるが・・・

牛乳

関東製造の牛乳が敬遠される
子育て層が北海道産にシフト

＊ただし放射能検査では検出限界値以上の数値は1度も出ていない

消費者･組合員の声

「被災地の商品を購入したい。
福島産や茨城産を積極的に扱ってほしい」

「福島より離れた産地や工場のものを購入したい。
不安な産地の商品は扱わないでほしい･･･」

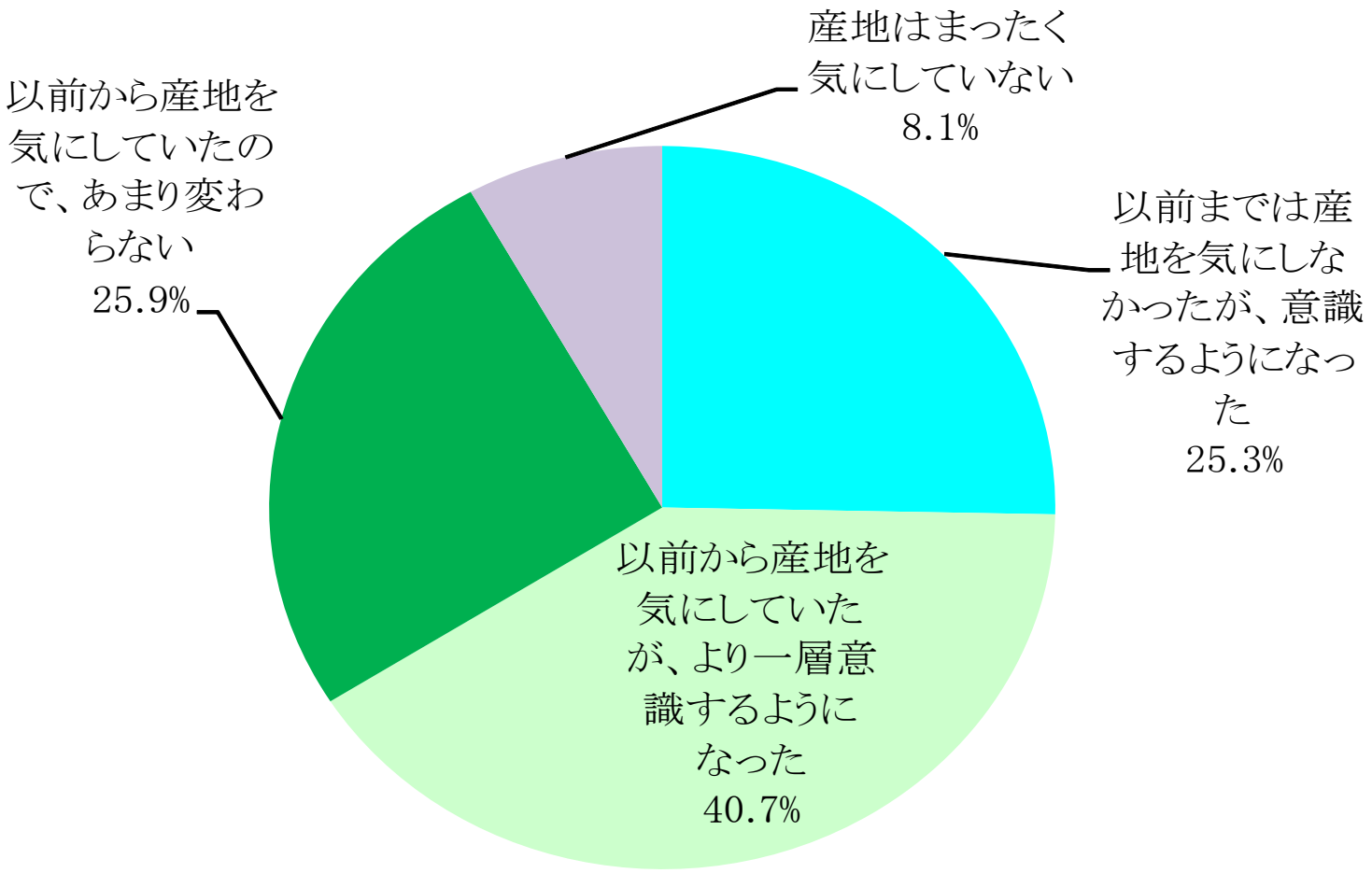
参考

節電とエネルギーに関するアンケート　日本生協連資料

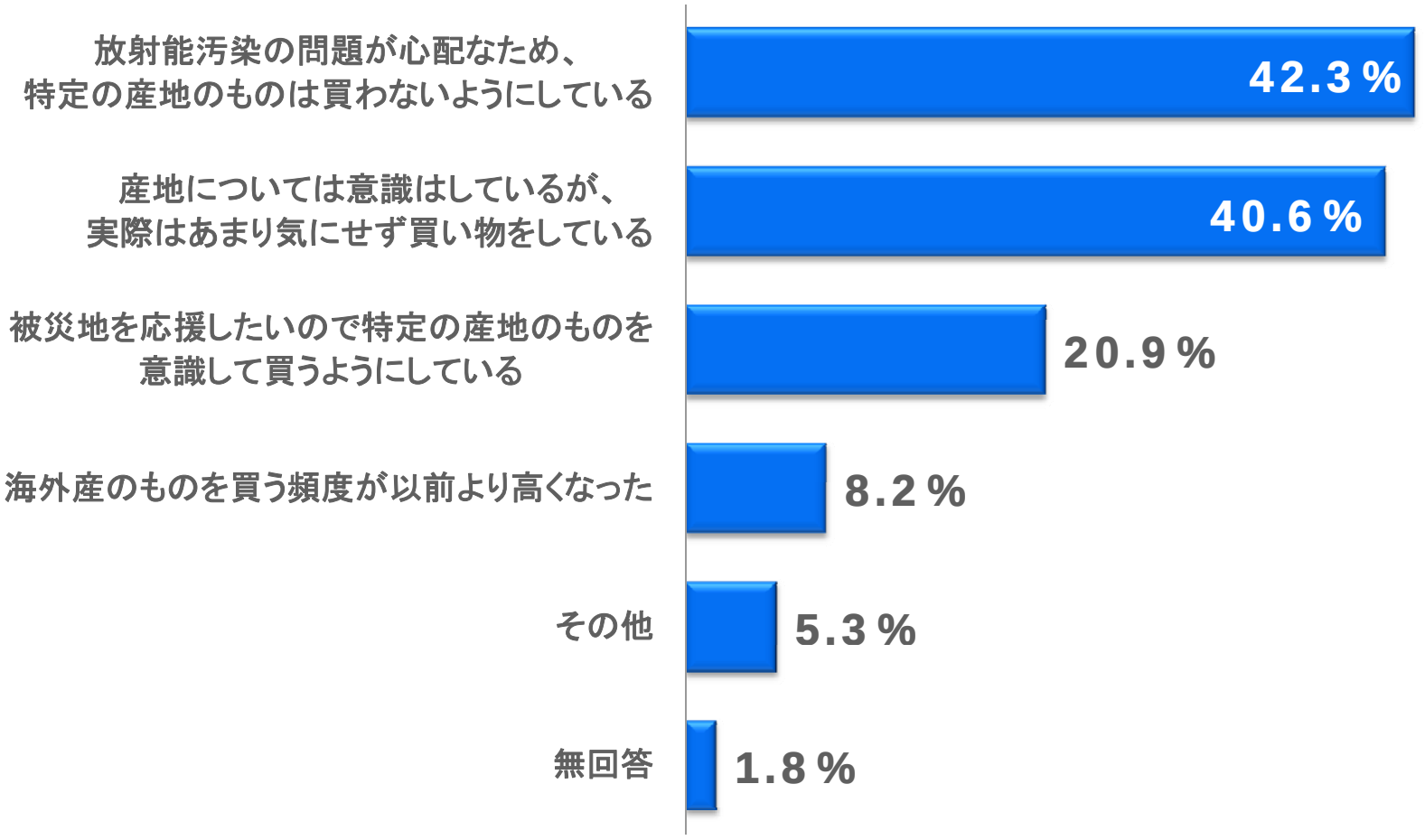
[調査対象]

地域購買生協の組合員のうち、日本生協連営業本部が募集した「くらしと商品に関するインターネットアンケートモニター」
（全国3,676人）を対象に、2011年7月実施したもの。

● 問13　東電福島第一原発事故後、食料品を買う時に産地を気にするようになったか



問14　実際の買い物をする行動にどのような変化があったか



問14　実際の買い物をする行動にどのような変化があったか

末子年齢別回答		回答者（人）	被災地を応援したいので特定の産地のものを意識して買うようにしている	放射能汚染の問題が心配なため、特定の産地のものは買わないようにしている	海外産のものを買う頻度が以前より高くなった	産地について意識はしているが、実際はあまり気にせず買い物をしている	その他	無回答
末子年齢	合計	2,160	20.9％	42.3％	8.2％	40.6％	5.3％	1.8％
	1歳未満	78	14.1％	51.3％	14.1％	34.6％	5.1％	-
	1～3歳	285	12.6％	47.7％	9.1％	43.9％	4.2％	1.1％
	4～6歳	210	17.1％	49.0％	11.0％	37.6％	2.4％	1.9％
	7～12歳	389	17.2％	46.0％	8.0％	38.8％	5.9％	1.8％
	13～15歳	190	24.7％	39.5％	12.1％	41.6％	5.8％	1.1％
	15～20歳	256	22.3％	32.4％	3.5％	50.4％	4.7％	2.3％
	21歳以上または子供なし	752	26.3％	39.6％	7.2％	38.3％	6.3％	2.1％

リスクコミュニケーションに向けて
コープのとりくみ
コープネット事業連合

- 産地の理解の上、放射能自主検査を行う
- 検査結果を都度お知らせする
- 利用の安心に繋げる

４／２～　　確認検査：

ゲルマニウム半導体検出器（精密検査法）

- 産地状況を伝え、風評被害を減らす
- 商品の利用で被災地支援につなげる

支援活動2 ～復興のために～

食べて応援 利用で応援 被災地の商品案内や、取り組みを紹介しています

被災地の生産・製造商品に「応援します」「いっしょにがんばろう！」マークを掲載し、応援しました。ご利用いただいた組合員さんへポイントを付与する「復興支援ポイント」も実施しました。

応援します 宮城　いっしょにがんばろう！ 茨城　復興支援 5ポイント

「ちいきげんき！」チラシや、eフレンズ「東北きずな商店」で、被災した産地やメーカーの復興に向けた取り組みを、商品とともにご案内しました。多くの組合員さんから、ご利用とともに応援メッセージが寄せられました。

復興支援募金と支援活動 支援のための募金や、活動を続けています

現在は「復興支援募金」を呼びかけています。昨年12月までにのべ9万3千人の組合員さんから6800万円をお預かりしました。漁協などお取引先復興のための支援金や、つながりのある被災地域やNPOなどの団体への拠出、組合員さんや職員のボランティア派遣などの活動を支えるために活用しています。

避難所での炊き出しや仮設住宅でのボランティア活動などを続けています。

リスクコミュニケーションに向けて
コープの取り組み
コープとうきょうの取り組みから

学習会の言葉の情報は「怖さ」を伝えるだけになっていなかったか

偏らない知識と判断で行動することを福島に行って学んだ

本当の意味で生産者と消費者をつなげる活動をしたい

～リスクコミュニケーションをし続けること～